

環境政策係

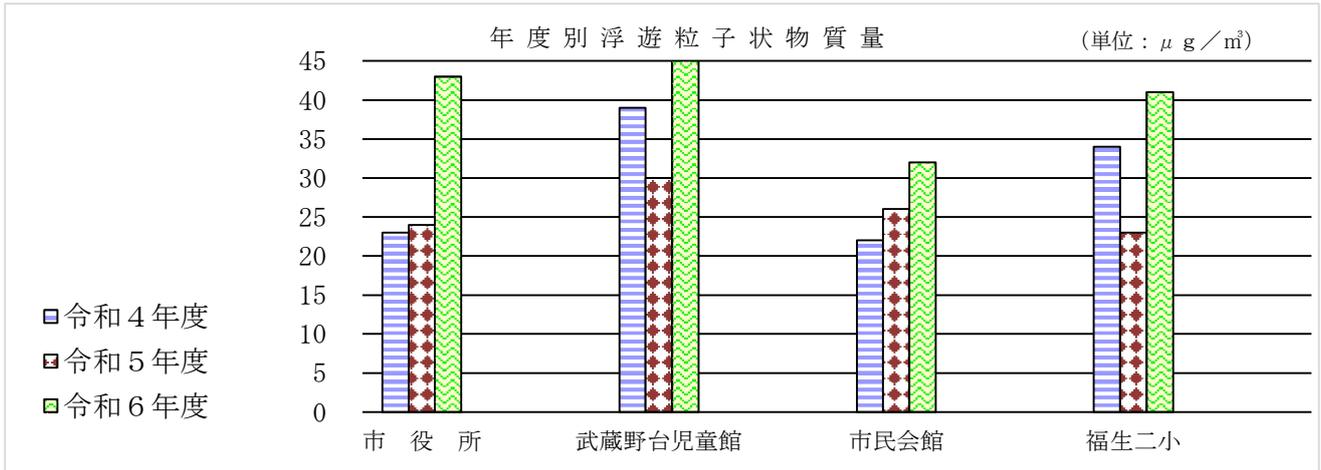
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：令和7年2月18日から21日まで

調査地点：市内4か所

ア 浮遊粒子状物質質量



区分	市役所	武蔵野台児童館	市民会館	福生二小
令和4年度	23	39	22	34
令和5年度	24	30	26	23
令和6年度	43	45	32	41

※福生二小の令和4年度については、屋上等工事により測定が実施できなかったため、白梅会館で実施

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

(単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査項目	市役所		武蔵野台児童館		市民会館		福生二小	
	令和6年度	前年度	令和6年度	前年度	令和6年度	前年度	令和6年度	前年度
鉛	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
マンガン	0.011	0.007	0.018	0.008	0.017	0.006	0.017	0.010
バナジウム	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.000	0.002	0.001
全クロム	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002

※ μg (マイクログラム) は100万分の1g

※数値は、1日平均の3日間平均の量である。

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：令和7年3月7日、10日

調査対象事業所数：2事業所（燃料使用量300L/日以上）

No	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(L/日)	イオウ含有量(W t %)		基準値(W t %)
			令和6年度	前年度	
1	特A	1,000	ND	ND	0.8
2	特A	1,200	ND	ND	

※W t %：質量パーセント、検出下限値0.05

※ND：定量下限値未満

(3) 二酸化窒素 (NO₂)

調査日：令和7年3月13日、14日

調査地点：市内12地点

(単位：ppm)

No	調査地点(交差点)	測定値		環境基準
		令和6年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.018	0.009	0.06
2	武蔵野橋南	0.012	0.022	
3	熊川内出	0.011	0.010	
4	第五ゲート前	0.013	0.013	
5	福生志茂南	0.009	0.013	
6	多摩橋北	0.009	0.008	
7	福生駅西	0.011	0.008	
8	福生加美	0.009	0.008	
9	福生加美平	0.008	0.007	
10	福生市役所前	0.008	0.008	
11	武蔵野台北	0.009	0.007	
12	第二ゲート前	0.019	0.019	

※数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

(単位：件)

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
区 東部	0	0	0	2	1	0	0	3
区 北部	0	0	0	3	1	1	0	5
区 西部	0	0	0	7	3	2	0	12
区 南部	0	0	1	1	3	1	0	6
多摩北部	0	0	0	4	3	0	0	7
多摩中部	0	0	0	5	3	0	0	8
多摩西部	0	0	0	2	0	0	0	2
多摩南部	0	0	1	4	0	0	0	5
合計	0	0	2	28	14	4	0	48

※多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道（雨水管）

pH(水素イオン濃度) …酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量) …微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質) …1μm以下のフィルターに残存する成分の量

ア 多摩川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和6年度	8.0	7.8	8.2	7.9	8.1	7.8	6.5~8.5
	令和5年度	8.2	7.9	8.1	8.2	7.7	8.2	
	令和4年度	8.2	8.4	9.4	7.8	7.5	8.4	
BOD	令和6年度	0.3	0.6	0.6	ND	0.3	ND	2mg/L
	令和5年度	1.3	0.7	1.4	0.8	0.7	1.1	
	令和4年度	1.1	1.6	0.7	0.3	0.7	0.7	
SS	令和6年度	2.0	3.0	0.5	1.0	ND	ND	25mg/L
	令和5年度	1.5	ND	9.0	1.0	1.0	5.0	
	令和4年度	1.0	1.0	2.0	ND	ND	0.5	

イ 下の川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和6年度	7.8	7.7	8.0	7.9	7.8	7.9	6.5~8.5
	令和5年度	7.4	7.7	7.8	7.9	7.7	8.0	
	令和4年度	8.2	7.3	8.4	7.9	7.5	8.5	
BOD	令和6年度	0.2	0.4	0.7	ND	0.4	0.2	2mg/L
	令和5年度	1.2	0.6	1.2	2.5	0.9	0.8	
	令和4年度	1.3	1.3	0.4	0.5	1.2	1.0	
SS	令和6年度	1.3	1.7	3.0	0.7	ND	0.7	25mg/L
	令和5年度	1.0	0.7	2.3	1.3	0.3	1.3	
	令和4年度	5.0	ND	0.3	ND	0.7	ND	

ウ 都市下水路（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和6年度	7.9	7.8	8.0	7.9	7.9	7.9	5.8~8.6
	令和5年度	7.6	7.8	8.0	8.5	7.7	7.8	
	令和4年度	8.2	7.9	8.0	7.6	7.6	8.4	
BOD	令和6年度	ND	ND	0.5	ND	1.2	ND	160mg/L
	令和5年度	0.6	0.6	3.6	1.0	0.6	ND	
	令和4年度	0.6	0.6	1.3	ND	0.6	0.8	
SS	令和6年度	3.0	ND	1.0	ND	2.0	ND	200mg/L
	令和5年度	ND	ND	1.0	13.0	ND	ND	
	令和4年度	ND	ND	2.0	ND	ND	ND	

エ 本町幹線（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和6年度	7.7	7.6	7.7	7.8	8.2	7.7	5.8~8.6
	令和5年度	7.1	7.5	7.8				
	令和4年度	8.4	7.3	8.0	7.6	7.3	7.9	
BOD	令和6年度	1.0	0.8	0.9	0.7	0.5	ND	160mg/L
	令和5年度	1.6	1.5	1.9				
	令和4年度	1.1	1.3	1.2	0.7	0.8	2.1	
SS	令和6年度	1.0	3.0	2.0	1.0	ND	ND	200mg/L
	令和5年度	2.0	ND	1.0				
	令和4年度	1.0	1.0	4.0	ND	ND	5.0	

※都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水

※基準値（範囲）を超えているものは、色付けをしている。

※平成27年度より、定量下限値未達についてはNDに表記を統一（ND：定量下限値未達）

※令和5年度の「エ 本町幹線（雨水管）」の11月から3月までは国土交通省が実施する低水護岸工事により、調査地点が立入禁止区域となったため、欠測とした。

(2) 多摩川合同採水

採 水 年 度		令和6年度		令和5年度	
採 水 月 日		6. 6 (木)	11. 7 (木)	6. 1 (木)	11. 2 (木)
採 水 時 間		午前11時30分		午前11時30分	
流量	m ³ /sec	3.4	2.3	2.3	2.3
気温	℃	28.0	18.0	23.5	26.2
水温	℃	19.0	15.8	20.9	17.2
外観		無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
臭気		無臭	弱藻臭	無臭	無臭
透視度	cm	>100.0	92	>100.0	>100.0
pH (水素イオン濃度)		8.1	8.2	8.4	8.5
DO (溶存酸素)	mg/L	10.5	10.2	11.3	10.8
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	0.5	<0.5	0.7	0.6
COD (化学的酸素要求量)	mg/L	1.8	1.7	1.6	1.1
SS (浮遊物質)	mg/L	2	3	<1	<1
T-CN (シアン化合物)	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb (鉛)	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
NH ₄ -N (アンモニア性窒素)	mg/L	<0.01	<0.01	0.01	0.01
T-N (全窒素)	mg/L	1.0	0.97	0.67	0.60
PO ₄ -P (リン酸性リン)	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
T-P (全リン)	mg/L	0.003	0.003	0.008	0.004
MBAS (陰イオン界面活性剤)	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
大腸菌数	CFU/100mL	80	25	98	56
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ヒ素	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出
1, 4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.94	0.69	0.61	0.57
全亜鉛	mg/L	0.023	0.005	0.011	0.004
ノニルフェノール	mg/L	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
環 境 基 準		水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：令和6年8月28日

検査項目	測定地点											基準値	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	7.1	5.4	1.4	3.4	2.9	4.9	1.8	2.6	5.1	3.8	2.9	10以下
塩化物イオン	mg/L	9.6	6.8	1.7	3.9	2.6	4.6	1.1	1.9	4.7	3.6	2.7	200以下
有機物 (TOCの量)	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	0.7	0.3	<0.3	<0.3	0.3	0.3	0.5	3以下
一般細菌	個/mL	2	12	3	2	16	72	0	4	18	1	7	100以下
大腸菌		不検出	検出	不検出	不検出	不検出	検出	不検出	不検出	検出	不検出	不検出	検出されないこと
鉄	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.03	0.3以下
マンガン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
pH (水素イオン濃度)		6.4	6.4	6.6	6.2	6.8	6.6	6.5	5.9	6.0	6.5	6.8	5.8~8.6
臭気		異常なし	異常でないこと										
味		異常なし	異常でないこと										
色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	5以下
濁度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	2以下
トリクロロ エチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロ エチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.004	0.01以下
1, 1, 1- トリクロロエタン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下

※基準値（範囲）を超えているものは、色付けをしている。

※地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 地下水中有機フッ素化合物

測定日：令和6年12月6日

検査項目	測定地点										暫定指針値	
	福生①	福生②	福生③	福生④	福生⑤	牛浜	熊川①	熊川②	熊川③	熊川④		
PFOS	ng/L	9.6	8.4	5.4	5.2	3.3	17	11	5.6	13	8.6	
PFOA	ng/L	6.9	9.3	4.6	1.3	2.9	9.2	9.1	3.2	15	8.0	
PFOS・PFOA合計値	ng/L	16	17	10	6.5	6.3	26	20	8.9	29	16	50
PFHxS	ng/L	2.3	1.3	1.1	1.0	0.3	1.9	0.7	0.9	1.6	0.6	

※本調査は定量下限値を0.3ng/L、有効桁数2桁で処理しているため、合計値が必ずしも「PFOS」と「PFOA」

の和と一致しない。

(5) 工場排水

測定日：令和6年9月18日

(単位：mg/L [pHと水温を除く。])

検査項目	A工場		基準値
	令和6年度	前年度	
pH (水素イオン濃度)	7.8	6.8	5.8~8.6
pH測定時水温	26.7	25.8	40℃以下
BOD (生物化学的酸素要求量)	2.1	1.1	160
COD (化学的酸素要求量)	33.0	6.3	160
SS (浮遊物質)	2	4	200
カドミウム及びその化合物	<0.003	<0.003	0.03
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量	<0.05	<0.05	3
亜鉛含有量	0.34	<0.05	2
溶解性鉄含有量	0.15	0.09	10

(6) 雨水管 (横田基地流入分)

測定日：令和6年6月18日、令和7年3月3日

項目	単位	多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線		排水基準
		6月	3月	6月	3月	6月	3月	
pH (水素イオン濃度)		8.5	7.1	8.1	7.4	7.7	7.4	5.8~8.6
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	0.8	2.9	1.1	2.4	1.1	3.1	160
SS (浮遊物質)	mg/L	5	7	11	20	12	13	200
ノルマルヘキサン抽出物	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	30
フェノール類	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	5
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	<0.1	0.2	0.2	0.3	<0.1	0.4	*
六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.5
鉛及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03
総水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
アンモニア性窒素	mg/L	0.02	0.06	<0.01	0.15	0.01	0.18	100
リン酸性リン	mg/L	<0.003	<0.003	0.003	0.003	0.003	<0.003	*
陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	0.02	<0.02	0.03	<0.02	0.02	*
有機リン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
有機物 (TOCの量)	mg/L	0.9	1.8	1.2	1.4	1.3	2.2	*
セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
全リン	mg/L	0.018	0.033	0.029	0.041	0.039	0.043	16
シアン化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1

*は排水基準の設定なし

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・騒音・振動調査

ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	令和6年 10月7日0時 ～8日0時	令和6年 10月7日0時 ～8日0時	令和6年 10月7日0時 ～8日0時	令和6年 10月7日0時 ～8日0時	令和6年 10月7日0時 ～8日0時
昼間 上り	19,416	8,742	6,102	3,366	4,686
昼間 下り	19,344	8,442	6,360	3,210	9,120
夜間 上り	2,976	822	594	306	816
夜間 下り	3,078	954	618	174	852
合計	44,814	18,960	13,674	7,056	15,474
前年度合計	45,180	19,668	14,334	8,226	17,316

※都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	令和6年 10月7日～11日の うち3日間	令和6年 10月7日～11日の うち3日間	令和6年 10月7日～11日の うち3日間	令和6年 10月7日～11日の うち3日間	令和6年 10月7日～11日の うち3日間	
騒音 (Leq)	昼間	76	70	71	69	70
	前年度	74	69	69	68	68
	夜間	75	67	66	63	67
	前年度	75	67	66	64	66
環境 基準 値	昼間	70				
	夜間	65				
要 請 限 度	昼間	75				
	夜間	70				

※Leq＝等価騒音レベル

ウ 振 動

(単位：デシベル＝dB)

道 路 通 称		国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測 定 場 所		横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地 先
用 途 地 域		近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車 線 数		4	4	2	2	2
測 定 日		令和6年 10月7日0時 ～8日0時	令和6年 10月7日0時 ～8日0時	令和6年 10月7日0時 ～8日0時	令和6年 10月7日0時 ～8日0時	令和6年 10月7日0時 ～8日0時
振 動 (L 1 0)	昼 間	40	30	33	25	55
	前 年 度	44	31	33	25	57
	夜 間	40	26	29	25	48
	前 年 度	42	26	29	25	50
要 請 限 度	昼 間	70	65	70	65	70
	夜 間	65	60	65	60	65

(2) 自動車騒音面的評価

市内でセンサス区間（自動車の運行に伴う騒音の影響が概ね一定とみなせる区間）に指定されている幹線道路20か所（1か所は毎年）の自動車騒音調査を5か年以内に全て行い評価する。（平成24年度から実施）

環境基準値	昼間	70	※幹線交通を担う道路に近接する空間に関する基準値
	夜間	65	

番号	道路名 (調査場所)	センサス 番号	基準点騒音 レベル(dB)		残留騒音レベ ル(dB)		達成率(%)		達成戸数(戸)		全戸数 (戸)
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	国道16号 (福生市熊川1148-3)	15140	73	73	50	46	83.4	58.6	522	367	626
2	立川青梅線 (福生市本町16)	41490-1	68	64	59	52	99.1	98	985	974	994
3	立川青梅線 (福生市熊川139)	41540-1	64	58	52	44	99.9	99.9	732	732	733
4	瑞穂あきる野八王子線 (福生市志茂229)	61260-1	63	58	51	42	98.7	98.7	152	152	154
5	杉並あきる野線 (福生市北田園1丁目12)	40440	66	61	51	42	100	100	343	343	343
6	立川青梅線 (福生市熊川204)	41470	70	65	36	35	96.3	96.3	207	207	215
7	立川青梅線 (福生市福生549-1)	41590	66	61	38	33	57.8	53.3	52	48	90
8	福生青梅線 (福生市武蔵野台1丁目16)	62840	65	59	39	30	93.6	90	761	732	813
9	立川青梅線 (福生市熊川711-3)	41360	63	58	37	33	100	100	346	346	346
10	立川青梅線 (福生市加美平3-39)	41380-1	66	61	40	33	99.8	99.8	497	497	498
11	伊奈福生線 (福生市福生656-1)	61120-1	65	60	38	33	99.1	98.7	786	783	793
12	杉並あきる野線 (福生市熊川1633)	41370-1	67	65	36	36	100	100	415	415	415
13	立川青梅線 (福生市福生1211)	41450-1	70	63	50	32	100	100	84	84	84
		41450-2	70	63	50	32	100	100	147	147	147
14	瑞穂あきる野八王子線 (福生市福生1027-14)	61170-1	55	49	42	33	100	100	61	61	61
		61170-2	55	49	42	33	100	100	201	201	201
15	昭島停車場熊川線 (福生市熊川1566-4)	62240-1	67	64	49	38	-	-	0	0	0
16	国道16号 (福生市福生2034-3)	15150-1	75	74	42	37	58.6	43.1	106	78	181
17	杉並あきる野線 (福生市熊川307)	40510-1	68	66	58	47	99.7	89.6	385	346	386
18	立川青梅線 (福生市牛浜25)	41560-1	65	58	48	37	98.8	99.2	591	593	598
19	瑞穂あきる野八王子線 (福生市本町1)	61250-1	60	48	54	41	100	100	247	247	247
20	国道16号 (福生市熊川456-1)	15130-1	56	54	53	44	97.6	94.1	200	193	205

※番号1は優先的対策道路区間として毎年評価を行う。

測定日時① 令和6年6月13日(木)0時から6月14日(金)0時まで(番号1から番号5まで)

測定日時② 令和5年10月2日(月)0時から10月3日(火)0時まで(番号17から番号20まで)

測定日時③ 令和4年11月14日(月)0時から11月19日(土)0時まで(番号13から番号16まで)

測定日時④ 令和3年11月17日(水)正午から11月18日(木)正午まで(番号9から番号12まで)

測定日時⑤ 令和2年11月18日(水)正午から11月19日(木)正午まで(番号6から番号8まで)

(3) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

(単位：デシベル＝d B)

月	測定回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (d B)	時間帯補正等 価騒音レベル (d B) ※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	850	628	207	15	119	67
5	784	681	95	8	114	64
6	713	515	187	11	119	64
7	669	516	144	9	104	62
8	929	758	166	5	107	60
9	856	696	140	20	104	63
10	906	646	213	47	115	64
11	1,018	674	326	18	108	62
12	806	626	168	12	110	61
7年1	1,152	863	268	21	110	64
2	1,263	841	410	12	101	63
3	1,095	845	224	26	121	71
合計	11,041	8,289	2,548	204		
前年度合計	10,852	8,159	2,462	231		
月平均	920	691	212	17	115	65

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

(単位：デシベル＝d B)

月	測定回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (d B)	時間帯補正等 価騒音レベル (d B) ※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	134	83	51	0	89	45
5	151	139	12	0	92	47
6	92	36	56	0	86	44
7	112	81	29	2	85	42
8	95	52	43	0	86	42
9	106	63	43	0	87	42
10	96	63	32	1	90	44
11	151	108	43	0	88	44
12	149	97	52	0	86	44
7年1	114	67	46	1	84	43
2	255	127	126	2	88	46
3	200	147	48	5	95	48
合計	1,655	1,063	581	11		
前年度合計	1,435	818	612	5		
月平均	138	89	48	1	89	45

※時間帯補正等価騒音レベル (Lden) : 平成25年4月1日から航空機騒音の評価指標となったもので、影響が大きいとされる夕方と夜間の騒音に重み付けをして補正した値を、1日24時間で平均することで算出する。航空機の離着陸などに伴い発生する「飛行騒音」に加え、航空機が滑走路・誘導路上を移動する際の騒音やエンジンテストによる騒音等の地上騒音も測定・評価の対象となる。

(4) 環境騒音調査 市内29地点 (46か所)

測定日：令和7年3月18日から28日まで【平日・昼間】

No	測定地点 用途地域 道路との関係		騒音の大きさ (dB)			支配音
			等価騒音レベル(L _{eq})		環境基準	
			令和6年度	前年度		
1	準工業	一般地域	52	51	60	一般音
2	準工業	一般地域	48	51	60	〃
3	第1種住居	沿道	67	67	70	自動車音
	第1種低層	後背地	46	50	55	〃
4	近隣商業	沿道	66	67	70	〃
	近隣商業	後背地	49	53	60	〃
5	第1種低層	一般地域	62	46	55	自然音
6	第1種住居	沿道	68	66	70	自動車音
	第1種低層	後背地	49	49	55	〃
7	近隣商業	沿道	76	73	70	〃
	第1種低層	後背地	53	56	55	〃
8	第2種低層	沿道	62	62	60	〃
	第1種低層	後背地	52	56	55	〃
9	第1種中高層	沿道	64	64	65	〃
	第1種低層	後背地	46	46	55	〃
10	第1種低層	後背地	54	51	55	一般音
	第1種中高層	沿道	57	60	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	64	63	70	〃
	第1種低層	後背地	47	52	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	48	51	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	51	53	60	〃
14	近隣商業	一般地域	48	47	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	55	53	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	75	73	70	〃
	第1種低層	後背地	52	53	55	一般音
17	第2種中高層	沿道	58	52	55	自動車音
18	近隣商業	沿道	67	66	70	〃
	近隣商業	後背地	55	58	60	〃
19	第1種低層	一般地域	53	51	55	〃
20	第2種中高層	沿道	65	62	70	〃
	第1種中高層	後背地	47	47	55	一般音
21	商業	一般地域	62	63	65	自動車音
22A	商業	一般地域	61	59	65	〃
22B	商業	沿道	65	63	70	〃
	第2種低層	後背地	57	55	55	〃
23	第1種中高層	沿道	68	66	60	〃
	第1種低層	後背地	52	52	55	〃
24	準工業	一般地域	51	52	65	一般音
25	近隣商業	沿道	66	65	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	47	49	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	48	51	60	〃
27	工業	沿道	65	65	70	自動車音
	工業	後背地	48	50	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	43	48	60	〃
29	第1種住居	沿道	65	65	70	自動車音
	第1種住居	後背地	49	51	55	〃

※後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

※基準値を超えているものは、色付けをしている。

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	7年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0
アスベスト相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土 壌 汚 染	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
騒 音・振 動	4	2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	10	28
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機騒音	24	33	23	25	20	22	31	26	24	24	24	7	283	221
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	1	0	1	2	0	1	0	0	0	1	1	0	7	10
雑 草	4	3	3	1	3	4	7	1	1	2	0	0	29	40
そ の 他	0	3	2	2	4	7	2	2	4	5	1	4	36	38
合 計	33	41	29	30	28	37	41	29	29	33	26	12	368	337

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	令和 6年度	前年度	区 分	令和 6年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	1	3
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	2
工 場 変 更 認 可	0	0	指 定 作 業 場 氏 名 変 更・承 継 届	2	1
工 場 変 更 認 定	0	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	0	1
工 場 氏 名 変 更・承 継 届	4	2	特 定 施 設 設 置 届	0	3
工 場 廃 止 届	3	1	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更・承 継 届	0	4
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	16	16	特 定 建 設 作 業 実 施 届	27	25
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	0	2			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	令和 6年度	前年度	区 分	令和 6年度	前年度
工 場 認 可 関 係	0	0	苦 情 処 理	185	230
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	1	各 種 測 定	181	181
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	0	2			

5 環境行政・環境学習の推進

(1) 市民会議等

ア 福生地域ネコの会

令和6年度定例会議 5回開催

イ かんきょう通信編集会議

環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行
第53号 3回開催

ウ ふっさ花とみどりの会

定例会議 4回開催

花いっぱい運動(春) やなぎ通り 1か所 1回

花いっぱい運動(秋) やなぎ通り 1か所 1回

多摩川中央公園フラワーズゾーン花壇管理(除草・植栽・採種等) 10回

視察研修(横浜方面) 1回

花いっぱいコンテスト審査会(春・秋) 2回

花いっぱいコンテスト表彰式(春・秋) 2回

エ ふっさ環境市民会議

定例会議 4回開催

福生打ち水日和 1回開催

打ち水に関する展示の実施内容・手ぬぐいの配布

・夏の省エネ資料の配布

・市役所訪問者への打ち水の呼びかけ

環境マップづくりに係る会議 2回開催

環境学習講座「気候変動と熱中症対策」 1回開催(ふっさ環境フェスティバル期間)

展示「環境団体の身近な環境活動状況の展示会開催」 1回開催(ふっさ環境フェスティバル期間)

地球温暖化防止月間キャンペーン 1回開催

環境団体・市民によるエコ活動発表会 1回開催

(2) 福生市環境審議会

令和6年8月19日

- ・福生市環境基本計画実行計画(令和5年度計画)進捗状況について
- ・福生市環境基本計画実行計画(令和6年度計画)について

(3) ふっさ環境フェスティバル

環境問題に対する認識を深め意識の醸成を図ることを目的に、市民参加型のイベントを2本立てで開催した。

ア 多摩川中央公園を会場とした来場型イベント

日時 令和6年6月2日(日) 午前10時～午後3時

場所 多摩川中央公園 げんき広場

内容 ステージイベント(「ゆとりズ」SDGs お笑いトークショー、明治大学校友会福生地域支部 環境落語、法政大学山崎ゼミ わくわく科学実験ショー、ふっさ草笛サークル 楽しい草笛のショータイム、ごみダイエットNOKO エコレンジャーショー、横田西多摩エイサー太鼓 沖縄エイサー太鼓、Hula Halau O Anela Lei フラダンスショー)、環境に関する展示、フードドライブ、ぬいぐるみの回収、環境に配慮して営業している事業所によるフードブース出展、秋川漁業協同組合「マスのつかみ取り」、パナソニック株式会社「環境・省エネ教育コーナー」、トヨタ S&D 西東京「水素燃料電池車「MIRAI」の展示」、福生災害ボランティアチェーンソー隊「伐木を使った棒投げ遊び」ほか

出展団体 39 団体(一般、事業者、官公庁)

来場者 4,052 人

イ まちなか全体を会場と見立てたイベント

開催期間 環境省が規定する環境月間である6月の1か月間

参加団体 102 団体(一般、事業者、官公庁)

(うち、実行委員 40 団体、一般参加 62 団体)

- 内 容
- ① 「私たちの環境配慮」&「ECO FRIENDLY ステッカー」の掲示
 - ② デジタルスタンプラリー 参加者数 123 人
 - ③ ハッシュタグキャンペーンの実施 参加者数 19 人
 - ④ SNS (YouTube・Instagram・X) を活用した環境情報の発信
 - ・YouTube 掲載数 10 本
 - ・Instagram 投稿件数 25 件
 - ・X 投稿件数 50 件
 - ⑤ 「私たちの環境配慮」リレー動画の公開 (YouTube)
 - ⑥ 環境スポット紹介 (市ホームページ)
 - ⑦ パネル展示 (市役所1階ロビー)

(4) 福生水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全14回

第1回	4/14	ヨモギ団子を作って食べよう	(31人、28人、12人)
第2回	5/6	多摩川の河口干潟へ行こう	(16人、13人、2人)
第3回	5/12	バードウォッチング&ごみ拾い	(11人、11人、6人)
第4回	6/9	多摩川の魚を見つけよう	(43人、38人、6人)
第5・6回	7/14	誰でもできる簡単釣り体験(午前・午後)	(46人、48人、10人)
第7回	8/11	いかだで冒険、多摩川で泳ごう	(30人、24人、8人)
第8回	9/8	多摩川の魚を見つけよう (増水のため内容変更) 昆虫採集	(22人、24人、9人)
第9回	10/13	バッタをゲット	(21人、22人、6人)
第10回	11/10	バードウォッチング&ごみ拾い	(10人、10人、7人)
第11回	12/8	クリスマスリースを作ろう	(19人、19人、5人)
第12回	1/12	手作り凧あげ	(16人、16人、5人)
第13回	2/9	デイキャンプ、焚き火であったまろう	(29人、32人、10人)
第14回	3/9	かくれんぼ広場で冒険遊び	(18人、16人、9人)
			計 (312人、301人、95人)
			合計 708人

※()内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示
(参考 令和5年度 全14回)

(5) 福生水辺の楽校“多摩川サポーターズ”全2回

第1回	5/12	水生生物をつかまえて水質をしらべよう	(13人、13人、14人)
第2回	8/11	いかだを作ろう	(17人、14人、7人)
			計 (30人、27人、21人)
			合計 78人

※()内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示
(参考 令和5年度 全2回)

(6) 小中学校における多摩川の総合学習支援

市内の小中学校が多摩川を題材とした総合的な学習の時間において行う体験活動に対し、資器材、教材の提供及び専門的な講師を派遣した。小学校6校からの依頼により、計25回の学習支援を行った。

内 容 植物昆虫観察、野鳥観察、水生生物観察など

参加人数 延べ1,580人

派遣講師 延べ34人

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
63人	49人	113人	142人	106人	70人	8人
11月	12月	7年1月	2月	3月	合計	前年度
22人	42人	41人	67人	—	723人	674人

※開館日数：104日(土・日曜及び小・中学校夏休み期間)

※イベント(福生水辺の楽校)参加者も含む。

※3月は電気設備の不具合のため臨時休館しており、利用者なし。

(8) 環境学習教員研修

第1回	7/24	「フィールドで学ぶ ～水質調査、生物調査、川の安全学習～」	17人
第2回	7/25	「福生の自然の変遷～フィールドワーク (旧ヤマジュウ田村家住宅、田村酒造場)～」	15人
			合計 32人

(9) 環境学習講座

市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全1回の環境学習講座を計画

第1回	11/2	施設見学	22人
-----	------	------	-----

(10) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
10匹	8匹	18匹

6 地球温暖化対策

(1) サイクルシェアリング

実証実験を踏まえ、ガソリン使用自動車からの乗換えによる地球温暖化対策、市内の回遊性の向上等を目的に、平成26年度からサイクルシェアリング事業として本格実施を開始した。設備の老朽化等により適切な運用が難しいことから、シェアリング利用を令和3年12月末日、一時利用を令和4年3月末日にそれぞれ終了させた。

令和4年度より、OpenStreet株式会社と協定を締結し、広域利用が可能となる「HELLO CYCLING」によるサイクルシェアリングを開始した。令和4年度は立川市、福生市の2市、令和5年度は日野市、小平市、国分寺市、国立市、武蔵村山市を加えた7市、令和6年度は東大和市を加えた8市による広域連携キャンペーンを実施した。

《実績》

令和6年度			令和5年度		
利用回数(流出/流入/域内)		利用者数	利用回数(流出/流入/域内)		利用者数
4月	1,218回 (227/258/733)	721人	4月	928回 (144/162/622)	412人
5月	1,411回 (266/304/841)	823人	5月	1,110回 (174/176/760)	525人
6月	1,236回 (235/261/740)	658人	6月	1,067回 (183/198/686)	492人
7月	1,329回 (231/260/838)	649人	7月	1,347回 (232/252/863)	595人
8月	1,428回 (229/275/924)	693人	8月	1,213回 (181/194/838)	506人
9月	1,569回 (285/315/969)	717人	9月	1,330回 (228/277/825)	634人
10月	1,584回 (300/365/919)	764人	10月	1,337回 (243/299/795)	652人
11月	1,714回 (329/382/1,003)	787人	11月	1,224回 (228/266/730)	618人
12月	1,519回 (285/322/912)	715人	12月	1,105回 (182/245/678)	564人
7年1月	1,234回 (230/267/737)	590人	6年1月	835回 (132/178/525)	444人
2月	1,198回 (256/243/699)	550人	2月	803回 (157/198/448)	462人
3月	1,370回 (258/305/807)	694人	3月	867回 (154/183/530)	518人
合計	16,810回 (3,131/3,557/10,122)	8,361人	合計	13,166回 (2,238/2,628/8,300)	6,422人

※利用回数の「流出」は市域外に出て行った回数、「流入」は市域外から入ってきた回数、「域内」は市域内だけで利用された回数

(2) 地球温暖化対策推進協議会

- 令和7年1月29日 ・令和6年度事業について（中間報告）
- ・令和7年度事業計画書（案）及び予算（案）について

(3) 普及啓発等事業の実施について

- ア ふっさライトダウンキャンペーン2024（2回）
- イ みどりのカーテン大作戦（参加29件）

7 環境マネジメントシステムの運用

平成20年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード（LAS-E）』を運用。平成26年度からLAS-Eの仕組みを土台として独自の環境マネジメントシステムを構築し、名称を福生市環境マネジメントシステム（Fussa environmental management system：略称F-e）として運用を開始し、地球温暖化対策の推進を図った。

(1) 点検・評価

これまでの「環境監査」と「優良取組選定」を、運用・取組状況及び、環境負荷低減等に資する良い取組の点検と評価を行う「点検・評価」として整理して実施した。

日 程	対 象	内 容
令和7年2月6日、7日 （現場訪問により実施）	点検・評価：15部署・ 施設	業務における環境面で特に重視している事柄や環境行動推進徹底のための取組について確認

(2) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	4回 （うち1回は 書面開催）	令和5年度実績について、令和6年度F-e運用における方針、目標設定、点検・評価等について
目標設定チーム会議	1回	令和6年度における目標設定について
環境マネージャー会議	2回	令和5年度実績について、令和6年度F-e運用における方針、目標設定、点検・評価等について
監査チーム会議	3回	点検・評価等実施方法の確認、点検・評価対象部署への質問の検討、点検・評価等の結果及び報告書の内容確認、点検・評価等の振り返り

(3) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
新任研修	令和6年4月3日	令和6年度新規採用職員等	環境マネジメントシステム全般及び具体的な取組について説明
職員個人調査	令和6年11月下旬～12月中旬	課長職以下の全職員	職員の環境配慮等について「正誤テスト」、「意識調査」による調査
職員研修	令和6年10月30日～12月7日 (研修システム及び研修動画のデータ配布により実施)	職員、会計年度任用職員、小・中学校教職員、指定管理施設職員	令和5年度実績、F-e取組のポイント、地球温暖化対策の現状と必要性について説明
点検・評価直前研修会	令和7年1月28日、31日	点検・評価対象部署職員	点検・評価のポイント、ヒアリングの進め方などについて説明

8 外来生物防除事業

アライグマ、ハクビシン及びクビアカツヤカミキリの市内における生息・被害状況の把握及び防除による自然環境や生態系の保全、農産物被害、感染被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、捕獲、防除等を実施した。

(1) アライグマ・ハクビシン

特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの捕獲、防除等を実施した。平成30年度より、定点での捕獲の他に個別対応の捕獲を行っている。

種 名	目撃情報	捕獲防除実績
アライグマ	9件	33頭
ハクビシン	12件	16頭
合 計	21件	49頭

(2) クビアカツヤカミキリ

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの捕獲、防除等を実施した。

- ・被害樹木の見回り 60日
- ・被害樹木への薬剤散布 130本
- ・町会・自治会の協力によるチラシ回覧、掲示板へのポスター掲示
- ・幼稚園、保育園、小・中学校等へのポスター掲示

9 緑化推進事業（花いっぱい運動）

(1) 草花の苗配布（町会・自治会・学校・公共施設等）

苗の種類	配布数
サルビア・ペチュニア	14,400株
マリーゴールド	14,750株
パンジー・ビオラ	24,830株
葉ボタン	5,160株
合計	59,140株

(2) プランター植栽事業

植栽地	内容
やなぎ通りプランター	(春) マリーゴールド 880株
	(秋) パンジー 656株
	(秋) ノースポール 224株